

# 逆洗弁ピットの水位低下に関する対応状況について

2016年7月28日

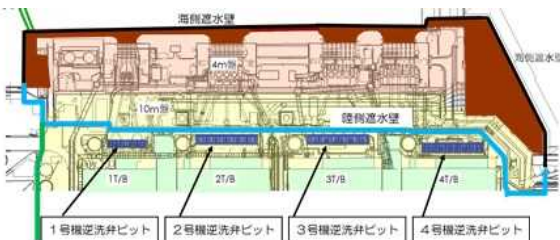


## 東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

### ①. 逆洗弁ピットの溜まり水の点検状況について（続報）



【逆洗弁ピットの位置】

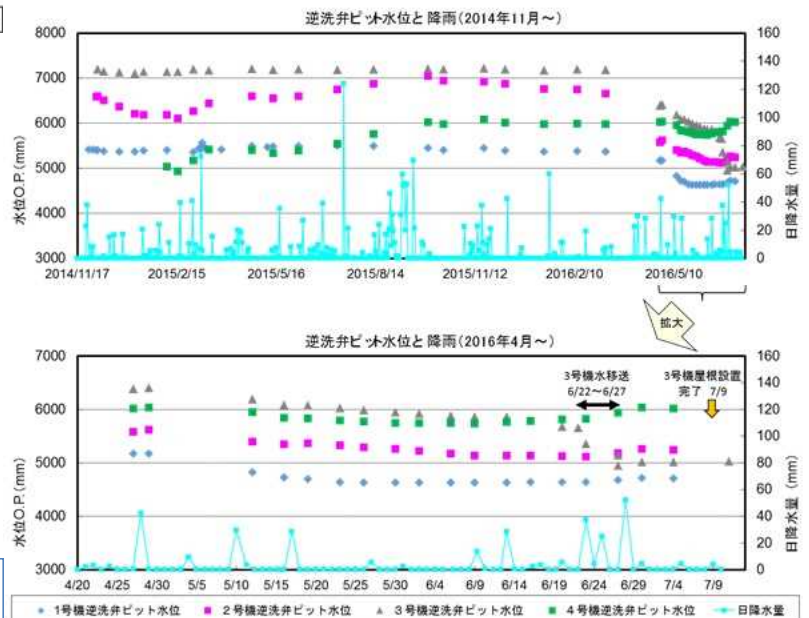
#### 【溜まり水の水位の状況】

- 1号機逆洗弁ピットについては、5/23以降ほとんど水位変化は無い。（屋根設置済）
- 2号機逆洗弁ピットについては、6/9以降水位の変化は小さくなり、6/23以降の降雨により水位が上昇。
- 3号機逆洗弁ピットについては、6/22～27に約300m<sup>3</sup>の溜まり水を移送。移送終了後は水位が安定。
- 4号機逆洗弁ピットについては、5/30以降水位の変化は小さくなり、6/23以降の降雨により水位が上昇。

<参考>溜まり水のセシウム137濃度

1号機：25,000Bq/L，2号機：750Bq/L，  
3号機：12,000Bq/L，4号機：1,200Bq/L

- 1～4号機タービン建屋東側に設置されている逆洗弁ピット内に溜まった雨水について、4月～5月にかけて水位の低下を確認したことから、監視を強化するとともに、1号機の次に溜まり水の放射性物質濃度が高い3号機を優先して水の一部移送及び屋根かけを実施。



## ②. 3号機逆洗弁ピットで実施した対策について

- 3号機逆洗弁ピットの溜まり水の水位を下げて流出を抑制するため、6/22～6/27の間、溜まり水の移送を実施した。

### 【実施内容】

- ・ 3号機逆洗弁ピット北側にポンプを下ろし、配管下端（O.P.5.0m）を下回るまで、3号機タービン建屋に溜まり水の移送を行った。
- ・ 移送実績：6/22～6/27 合計約300m<sup>3</sup> 移送後の水位 O.P.4.95m
- なお、移送前後で、ピット周辺の雰囲気線量に変化は見られなかった。
- さらに、雨水流入により溜まり水が再び増加するのを抑制するため、ピット上部に屋根を設置した。（7/9設置完了）



【6月27日移送終了後の配管貫通部（海側）】



【逆洗弁ピット上部の屋根設置状況】

<参考>逆洗弁ピットの残水量（2016/7/11現在）

1号機：300m<sup>3</sup>，2号機：900m<sup>3</sup>，3号機：700m<sup>3</sup>，4号機：1300m<sup>3</sup>，合計3200m<sup>3</sup>

## ③. 対策実施結果と今後の対応について

- 1号機逆洗弁ピットについては、5月下旬以降水位は安定した状況にあり、屋根も設置済みであることから、水位の測定頻度を元に戻して（1回/月）監視を継続する。
- 2，4号機逆洗弁ピットについては、水位の低下は落ち着き、安定した状況にあることから、水位の測定頻度を元に戻して（1回/月）監視を継続するとともに、対策を検討していく。
- 3号機逆洗弁ピットについては、水位の低下は何らかの環境変化により配管貫通部付近で外部とつながる隙間が拡大したためと考え、水位が配管下端を下回るまで溜まり水の移送を行った。
- さらに、3号機逆洗弁ピットについては、雨水流入抑制用の屋根を設置。溜まり水移送後は、水位低下が見られていないことから、水位の測定頻度を元に戻して（1回/月）監視を継続する。